



各 位

平成 17 年 2 月 1 日
会 社 名 日 本 電 子 材 料 株 式 会 社
代 表 者 の
役 職 名 代 表 取 締 役 社 長 坂 根 英 生
(コード番号 6855)
問 い 合 わ せ 先 I R 室
I R 室 長 南 正 光
電 話 0 6 (6 4 8 2) 2 4 3 2

業績予想（単独・連結）の修正に関するお知らせ

平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想については、平成 16 年 11 月 19 日付発表の予想を次のとおり修正いたします。

1. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）	11,000	2,200	1,200
今回修正（B）	10,700	1,950	1,050
増減額（B）（A）	300	250	150
増減率	2.7	11.4	12.5
（参考）			
前期（平成 16 年 3 月期）実績	8,463	1,430	830

（参考）1 株あたり予想当期純利益（通期）124 円 20 銭

2. 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）	12,800	2,400	1,400
今回修正（B）	12,500	2,150	1,200
増減額（B）（A）	300	250	200
増減率	2.3	10.4	14.3
（参考）			
前期（平成 16 年 3 月期）実績	9,609	1,380	844

（参考）1 株あたり予想当期純利益（通期）142 円 61 銭

3. 修正理由

半導体市場は、上半期は前期に引き続きデジタル家電市場の好調により大幅に伸長いたしましたが、下半期に入り、出荷と生産の勢いが鈍り在庫が急速に増加傾向となり減速いたしました。

当社は、このような環境下におきまして、中間期は2006年度を最終年度とする中期計画の基本構想に基づき次世代新製品の開発加速、海外拠点の利益率向上、さらなる生産性向上の推進、新製品の拡大とコスト力の強化などに積極的に取り組み業績は順調に推移いたしました。下期についても、このような積極的な取り組みを展開しております。しかしながら、12月に入り予想以上に各半導体メーカーの生産調整が厳しい状況で推移したこと等により、平成16年11月19日付発表の予想値を修正いたします。

以 上